

3. 利用者の属性／家族の状況／告知の有無／本人・家族の意向の確認 (n=739)

1) 利用者の属性 (n=739)

利用者の年齢階級は、「85歳以上」41.4%、「75-84歳」36.1%で、75歳以上が全体の77.5%を占めていた。

要介護度は、「要介護5」22.5%、「要介護4」21.1%、「要介護3」17.1%の順で、要介護4以上が全体の43.6%を占めていた。

主病名は、「がん」47.2%、「非がん（脳血管疾患およびその他）」51.4%であった。

表4. 利用者の基本属性

ア) 年齢階級

	合計	40-64 歳	65-74 歳	75-84 歳	85歳 以上	未回答
人数 (人)	739	46	106	267	306	14
割合 (%)	100.0	6.2	14.3	36.1	41.4	1.9

イ) 要介護度

	合計	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	未回答
人数 (人)	739	79	67	114	126	156	166	31
割合 (%)	100.0	10.7	9.1	15.4	17.1	21.1	22.5	4.2

ウ) 主病名

	合計	がん	脳血管 疾患	その他	未回答
人数 (人)	739	349	71	309	10
割合 (%)	100.0	47.2	9.6	41.8	1.4

2) 家族の状況 (n=739)

同居形態は、「本人と配偶者」26.3%、「独居」16.6%、「本人と子供」11.8%、「本人と配偶者と子供」10.6%の順で、独居ないし夫婦二人暮らしが全体の42.9%を占めていた。

主たる介護者は、「妻」29.2%、「娘」22.5%、「息子の妻」16.8%の順で、妻ないし娘が51.7%を占めていた。

意思決定上のキーパーソンは、「娘」25.4%、「息子」23.5%、「妻」22.6%の順で、娘ないし息子が49.0%を占めていた。

表 5. 同居形態（主なもの）

	合 計	本人/ 配偶者	独居	本人/ 子	本人/ 配偶者 /子	本人/ 子/子 の配偶 者	本人/ 子/子 の配偶 者/親 族	本人/ 配偶者 /子/子 の配偶 者
人数（人）	739	194	123	87	78	75	45	37
割合（％）	100.0	26.3	16.6	11.8	10.6	10.1	6.1	5.0

表 6. 主たる介護者（主なもの）

	合 計	妻	娘	息子の妻	息子	その他	夫
人数（人）	739	216	166	124	82	75	50
割合（％）	100.0	29.2	22.5	16.8	11.1	10.1	6.8

表 7. 意思決定上のキーパーソン（主なもの）

	合 計	娘	息子	妻	その他	息子の妻	夫
人数（人）	739	188	174	167	71	67	48
割合（％）	100.0	25.4	23.5	22.6	9.6	9.1	6.5

3) 病名や予後に関する告知の状況（n=729）

告知ありの割合は、「本人」43.1%、「家族」84.5%であった。

これを主病名区分（がん、非がん）別にみると、本人への告知率は、「がん」60.5%、「非がん」27.1%、家族への告知率は、「がん」95.7%、「非がん」74.2%であった。

がんの場合、家族には95.7%告知されていたが、本人への告知率は60.5%であった。

表 8. 本人および家族への告知の実施状況

ア) 本人への告知

	あり	なし	不明	未回答
合計(n=729)	43.1%	35.1%	19.1%	2.7%
がん(n=349)	60.5%	33.0%	5.7%	0.9%
非がん(n=380)	27.1%	37.1%	31.3%	4.5%

イ) 家族への告知

	あり	なし	不明	未回答
合計(n=729)	84.5%	5.3%	7.1%	3.0%
がん(n=349)	95.7%	0.9%	1.4%	2.0%
非がん(n=380)	74.2%	9.5%	12.4%	3.9%

注.合計は、主病名が未記入であった10人を除く729人の状況である。

4) 本人・家族の意向の確認状況 (n=729)

延命治療に対する意向確認ありの割合は、「本人」18.1%、「家族」41.7%であった。

これを主病名区分（がん、非がん）別にみると、本人への確認ありは、「がん」25.5%、「非がん」11.3%、家族への確認ありは、「がん」46.4%、「非がん」37.4%であった。

看取り場所に対する意向確認ありの割合は、「本人」38.1%、「家族」69.7%であった。

これを主病名区分（がん、非がん）別にみると、本人への確認ありは、「がん」55.0%、「非がん」22.6%、家族への確認ありは、「がん」83.4%、「非がん」57.1%であった。

表 9-1. 本人および家族の意向の確認状況（延命治療）

ア) 本人への確認

	あり	なし	不明	未回答
合計(n=729)	18.1%	44.2%	35.3%	2.5%
がん(n=349)	25.5%	44.4%	27.8%	2.3%
非がん(n=380)	11.3%	43.9%	42.1%	2.6%

イ) 家族への確認

	あり	なし	不明	未回答
合計(n=729)	41.7%	34.7%	19.8%	3.8%
がん(n=349)	46.4%	36.7%	13.2%	3.7%
非がん(n=380)	37.4%	32.9%	25.8%	3.9%

注:合計は、主病名が未記入であった 10 人を除く 729 人の状況である。

表 9-2. 本人および家族の意向の確認状況（看取りの場所）

ア) 本人への確認

	あり	なし	不明	未回答
合計(n=729)	38.1%	27.7%	33.1%	1.1%
がん(n=349)	55.0%	21.8%	22.6%	0.6%
非がん(n=380)	22.6%	33.2%	42.6%	1.6%

イ) 家族への確認

	あり	なし	不明	未回答
合計(n=729)	69.7%	10.7%	17.0%	2.6%
がん(n=349)	83.4%	6.6%	8.6%	1.4%
非がん(n=380)	57.1%	14.5%	24.7%	3.7%

注:合計は、主病名が未記入であった 10 人を除く 729 人の状況である。

4. 死亡1ヶ月前の療養場所と看取り場所の変化とその理由 (n=739)

1) 死亡1ヶ月前の療養場所と看取り場所の変化

死亡1ヶ月前の療養場所は、「自宅」68.5%、「病院・有床診療所（病院等）」27.2%、「介護施設」2.2%、「その他」1.4%の順、看取り場所は、「病院等」58.2%、「自宅」37.3%、「その他」2.3%、「介護施設」1.4%の順であった。

ここで、死亡1ヶ月前の自宅療養者506人の看取り場所をみると、「病院等」275人(54.3%)、「自宅」218人(43.1%)、「その他」8人(1.6%)、「介護施設」4人(0.8%)と、4割強が、在宅で亡くなっていた。

表 10. 死亡1ヶ月前と看取り時の所在地の変化

(人数)		看取りの場所					横計
		自宅	病院等	介護施設	その他	未回答	
死亡1ヶ月前	自宅	218	275	4	8	1	506 (68.5%)
	病院等	55	141	1	4	0	201 (27.2%)
	介護施設	1	10	5	0	0	16 (2.2%)
	その他	2	4	0	4	0	10 (1.4%)
	未回答	0	0	0	1	5	6 (0.8%)
	縦計	276 (37.3%)	430 (58.2%)	10 (1.4%)	17 (2.3%)	6 (0.8%)	739 (100.0%)
(構成割合)		看取りの場所 (%)					合計
		自宅	病院等	介護施設	その他	未回答	
死亡1ヶ月前	自宅	43.1	54.3	0.8	1.6	0.2	100.0
	病院等	27.4	70.1	0.5	2.0	0.0	100.0
	介護施設	6.3	62.5	31.3	0.0	0.0	100.0
	その他	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0	100.0
	未回答	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	100.0
	合計	37.3	58.2	1.4	2.3	0.8	100.0

2) 死亡1ヶ月前の自宅療養者の療養場所の変化時期とその理由 (n=288)

死亡1ヶ月前の自宅療養者506人のうち、看取り場所が変更になった288人(内訳：病院等275人、介護施設4人、その他8人、未回答1人)の、療養場所変更時期をみると、「死亡2～4週間前」29.2%、「1～2週間前」25.7%、「4日前～1週間前」17.7%、「1日～3日前」12.8%、「1日以内」12.2%の順であった。

療養場所の変更理由(複数回答)は、「病状の変化」が77.1%と多く、次いで、「介護力の問題」13.5%、「同居家族の意見」12.2%、「本人の希望や意思」11.5%、「家族の看取りへの不安や動揺」11.1%、「別居家族・親族の意見」9.7%、「元々入院・入所の予定あり」6.9%であった。

5. 死亡前1ヶ月間の医療支援体制 (n=506)

1) 主治医の在宅医療支援体制

死亡前1ヶ月時点で自宅療養をされていた506人の主治医の所属機関は、「病院」39.5%、「診療所（在宅療養支援診療所以外）」29.8%、「在宅療養支援診療所（以下、支援診療所）」26.1%、「その他」2.4%、「未回答」2.2%の順であった。

ここで、主な所属機関別に、在宅医療支援体制をみた。

24時間電話連絡「可」の割合は、「病院」62.5%、「診療所」63.6%、「支援診療所」90.9%、緊急時の往診対応「可」の割合は、「病院」29.0%、「診療所」79.5%、「支援診療所」94.7%、緊急時の往診「実施」割合は、「病院」18.0%、「診療所」39.1%、「支援診療所」73.5%、訪問診療「実施」割合は、「病院」21.0%、「診療所」59.6%、「支援診療所」83.3%であった。

表 11. 主治医の主な所属機関別にみた在宅医療支援体制の状況

ア) 24時間の電話連絡				
	可	不可	不明	未回答
病院(n=200)	62.5%	19.5%	15.0%	3.0%
診療所(n=151)	63.6%	23.2%	11.3%	2.0%
支援診療所(n=132)	90.9%	3.8%	4.5%	0.8%
イ) 緊急時の往診対応				
	可	不可	不明	未回答
病院(n=200)	29.0%	61.0%	9.0%	1.0%
診療所(n=151)	79.5%	13.9%	6.6%	0.0%
支援診療所(n=132)	94.7%	2.3%	3.0%	0.0%
ウ) 緊急時の往診の有無				
	あり	なし	不明	未回答
病院(n=200)	18.0%	76.0%	5.5%	0.5%
診療所(n=151)	39.1%	46.4%	14.6%	0.0%
支援診療所(n=132)	73.5%	20.5%	6.1%	0.0%
エ) 訪問診療の有無				
	あり	なし	不明	未回答
病院(n=200)	21.0%	74.0%	3.0%	2.0%
診療所(n=151)	59.6%	34.4%	5.3%	0.7%
支援診療所(n=132)	83.3%	12.9%	3.0%	0.8%

2) 訪問看護の緊急支援体制 (n=269)

死亡前1ヶ月時点で自宅療養をされていた506人のうち、死亡前1ヶ月間に訪問看護を利用していた269人(53.2%)の、訪問看護師の所属機関をみると、「併設以外の訪問看護ステーション(以下、訪看 St)」57.6%、「併設の訪看 St」26.4%、「併設以外の病院」7.4%、「併設病院」5.6%、「未回答」3.0%の順であった。

ここで、主な所属機関別に、訪問看護支援体制をみた。

24時間電話連絡、および緊急時の訪問対応の割合は、訪問看護師の所属機関に関係なく、8割以上が可能であった。緊急時の訪問「実施」割合は、「併設以外の訪看 St」が37.4%と多く、次いで、「併設の訪看 St」「併設の病院」20.0%、「併設以外の病院」15.0%であった。

表 12. 訪問看護師の主な所属機関別にみた緊急支援体制の状況

ア) 24時間の電話連絡

	可	不可	不明
併設以外の訪看 St(n=155)	93.5%	5.8%	0.6%
併設の訪看 St(n=71)	98.6%	1.4%	0.0%
併設以外の病院(n=20)	85.0%	15.0%	0.0%
併設の病院(n=15)	93.3%	6.7%	0.0%

イ) 緊急時の訪問対応

	可	不可	不明
併設以外の訪看 St(n=155)	97.4%	1.9%	0.6%
併設の訪看 St(n=71)	100.0%	0.0%	0.0%
併設以外の病院(n=20)	85.0%	15.0%	0.0%
併設の病院(n=15)	93.3%	0.0%	6.7%

ウ) 緊急時訪問の有無

	あり	なし	不明
併設以外の訪看 St(n=155)	37.4%	59.4%	3.2%
併設の訪看 St(n=71)	20.0%	78.6%	1.4%
併設以外の病院(n=20)	15.0%	75.0%	10.0%
併設の病院(n=15)	20.0%	80.0%	0.0%

6. 死亡前1ヶ月間の介護サービス受給状況とサービスの不足感 (n=424)

本節では、死亡前1ヶ月時点で自宅療養されていた506人のうち、全ての介護サービスの受給状況に回答があった424人について、介護サービスの受給率、ならびに各サービスの不足感(本人・家族、および介護支援専門員からみた不足感)をみた。

1) 介護サービスの受給率とサービス量の不足感 (n=424)

介護サービス受給率は、「福祉用具貸与」が71.7%と最も多く、次いで「訪問看護(医療保険または介護保険のいずれか)」63.4%、「訪問介護」53.8%、「通所介護」24.1%、「訪問入浴介護」17.5%、「ショートステイ」12.7%、「通所リハ」5.9%、「訪問リハ」4.5%の順であった。

本人・家族からみた不足感では、「訪問介護」が9.9%と最も多く、次いで「ショートステイ」4.0%、「訪問看護(医療保険)」「訪問看護(介護保険)」3.8%の順、介護支援専門員からみた不足感では、「訪問介護」が27.8%と最も多く、次いで「訪問看護(介護保険)」17.7%、「訪問看護(医療保険)」「訪問入浴介護」12.0%、「ショートステイ」7.3%の順であった。

全てのサービスに対し、本人・家族よりも介護支援専門員の方がサービスの不足感を感じていたが、特に、訪問介護や訪問看護に対する両者の不足感に差が大きかった。

表 13. 介護サービスの受給率とサービス不足感

	受給率 (%)	サービス量の不足感ありの割合	
		本人・家族 からみた	介護支援専門員 からみた
訪問介護	53.8%	9.9%	27.8%
訪問入浴介護	17.5%	2.4%	12.0%
訪問看護	63.4%	—	—
—医療保険	33.7%	3.8%	12.0%
—介護保険	37.3%	3.8%	17.7%
訪問リハ	4.5%	0.2%	3.8%
福祉用具	71.7%	1.7%	6.1%
通所介護	24.1%	2.8%	5.0%
通所リハ	5.9%	1.2%	2.4%
ショートステイ	12.7%	4.0%	7.3%

2) 必要と思われる介護サービスが導入できなかった/制限された理由 (n=229)

介護支援専門員からみて、何らかの介護サービス量に不足感ありと回答があった229人について、その理由をみると、「本人の拒否」が36.2%と最も多く、次いで「家族の拒否」35.8%、「区分支給限度額内の単位数不足」21.8%、「金銭的理由」19.2%、「サービス事業所不足」6.1%、「事業所側の受け入れ拒否」3.9%の順であった。

7. 介護支援専門員の関与状況 (n=739)

1) 関与期間と関与開始時期 (n=729)

本人との関与期間は、「1年以上3年未満」が27.0%と最も多く、次いで「3年以上」21.4%、「1ヶ月以上3ヶ月未満」15.5%、「半年以上1年未満」13.7%、「1ヶ月未満」8.9%、「3ヶ月以上半年未満」8.6%の順であった。

これを主病名区分（がん、非がん）別にみると、がんでは、「1ヶ月以上3ヶ月未満」25.2%、「1年以上3年未満」18.1%、「半年以上1年未満」14.9%の順、非がんでは、「1年以上3年未満」35.3%、「3年以上」30.0%、「半年以上1年未満」12.6%の順であった。

表 14. 本人との関与期間

	2週間 未満	1ヵ月 未満	3ヶ月 未満	半年 未満	1年 未満	3年 未満	3年 以上	未回答
合計(n=729)	4.1%	4.8%	15.5%	8.6%	13.7%	27.0%	21.4%	4.8%
がん(n=349)	8.3%	8.9%	25.2%	8.9%	14.9%	18.1%	12.0%	3.7%
非がん(n=380)	0.3%	1.1%	6.6%	8.4%	12.6%	35.3%	30.0%	5.8%

注:合計は、主病名が未記入であった10人を除く729人の状況である。

2) 死亡前1ヶ月間の相談対応状況

相談内容15項目全てに回答があった490人のうち、本人から何らかの相談があった226人、家族から何らかの相談があった426人について、項目別相談率をみると、本人からは、「介護サービス」54.9%、「病状の変化」49.6%、「疼痛」44.2%の順、家族からは、「介護サービス」75.6%、「病状の変化」69.7%、「介護方法」68.8%の順であった。

表 15. 内容別にみた相談対応状況

	本人(n=226)	家族(n=426)
①疾患に関して	36.7%	55.2%
②治療に関して	28.3%	48.8%
③薬に関して	19.0%	30.8%
④疼痛(痛み)について	44.2%	28.2%
⑤病状の変化に関して	49.6%	69.7%
⑥入院・入所の相談	24.8%	47.7%
⑦介護サービスに関して	54.9%	75.6%
⑧経済面の相談	13.3%	19.2%
⑨死後の相談	10.2%	18.3%
⑩家族関係の相談	21.7%	29.8%
⑪精神面の相談	35.0%	47.9%
⑫看取りへの不安について	14.6%	45.5%
⑬死の受容について	19.0%	28.6%
⑭介護方法の相談	27.0%	68.8%
⑮家族の介護体制について	29.2%	52.1%

3) 死亡前1ヶ月間の相談量/依頼量の変化 (n=739)

死亡1ヵ月間で相談量・依頼量が増加したと回答した割合(非常に増加、または、やや増加と回答した割合)は、「本人から」15.0%、「家族から」51.6%、「時間外対応」30.8%、「主治医から」16.8%、「介護事業所から」33.5%であった。

表 16. 死亡前1ヶ月間の相談量/依頼量の変化

	非常に増加	まあまあ増加	不変	やや減少	非常に減少	相談なし	未回答
本人相談	3.4%	11.6%	27.2%	2.6%	3.5%	40.1%	11.6%
家族相談	19.9%	31.7%	24.0%	2.0%	1.9%	9.5%	11.1%
時間外対応	9.6%	21.2%	23.8%	0.1%	0.5%	34.2%	10.4%
主治医依頼	3.4%	13.4%	28.4%	0.0%	0.1%	44.2%	10.4%
事業所依頼	8.7%	24.8%	24.4%	0.4%	0.7%	29.4%	11.8%

4) 死亡後の関わりの有無とその内容 (n=739)

死亡後の何らかの関わりの有無をみると、「あり」82.9% (613人)、「なし」10.8%、「未回答」6.2%であった。

何らかの関わりがあった613人について、その内容をみると、「電話対応」50.6%、「訪問面会」46.5%、「お葬式／お通夜への参列」28.7%であった。

5) 本人および家族への支援に対する自己評価 (n=739)

支援に対する自己評価が「非常に満足～まあまあ満足」の割合は、「本人支援」33.2%、「家族支援」45.7%であった。

表 17. 本人および家族への支援に対する自己評価

	非常に満足	まあ満足	どちらでもない	やや満足	大いに満足	未回答
本人支援	3.2%	30.0%	46.0%	12.0%	3.4%	5.3%
家族支援	5.5%	40.2%	36.1%	9.5%	2.6%	6.1%

D. 考察およびE. 結論

本研究の目的は、終末期にある高齢者と家族を支援するための、現行の終末期ケアおよびケアマネジメントの実態を把握し、ケアマネジメントの質向上に向けた今後の対策を検討する上での基礎データを収集することである。

今回、兵庫県下の介護支援専門員 2,973 人に無記名自記式質問紙を送付し、各人が有する直近の死亡事例について、①基本属性、②介護者の状況、③告知の実施状況、④死亡 1 ヶ月前と看取り時の場所の変化とその理由、⑤医療／介護サービス受給状況、⑥本人への関与期間と関与開始時期、⑦死亡 1 ヶ月前の援助内容と死亡後の関与状況、⑧本人および家族への支援に対する自己評価などを質問した。有効回答 793 事例を分析した結果、

- 1)死亡理由は、「がん」47.3%、「非がん」51.4%であった。
- 2)病名や予後の告知率は、「本人」43.1%、「家族」84.5%であった。
- 3)死亡 1 ヶ月前の自宅療養者 506 人の看取り場所は、「病院等」54.3%、「自宅」43.1%で、所在変更理由（複数回答）は、「病状の変化」が78.9%であった。
- 4)在宅療養支援診療所の主治医の73.5%が、死亡 1 ヶ月間に往診を実施していた。
また、訪問看護利用者の約 9 割に対して、24 時間電話連絡、緊急時の訪問対応ができる体制が設けられていた。
- 5)死亡前 1 ヶ月間のケアプランに必要なサービスが導入できていない理由としては、区分支給限度額の問題以上に、本人や家族の拒否が大きかった。
- 6)死亡前 1 ヶ月間の本人・家族からの相談内容では、「病状の変化」や「疼痛」などの相談が多かった。

などがわかった。

樋口らは、終末期ケアにおいては、①高齢者の希望を中心におき、その希望を実現するためのゴールを共有し、②介護者の期待度に基づく介護条件を整え、③受けたい医療が尊重され、必要が生じた治療を過不足なく受けられるよう調整すること、臨床期への移行期には不安やゆらぎに寄り添いながら死別の準備をすすめ、安らかな見守りの中での死を迎え、死別後のケアを受けられるよう、④患者と家族・社会との関係を調整し、一貫したケアが受けられるよう、丁寧なマネジメントを実践していくことが求められると述べている。

これら要件に対し、現時点のケアマネジメントがどこまで対応できているかの視点から、今回得られた結果に対して考察を加える。

本人・家族からの相談内容をみると、「病状の変化」や「疼痛」などに関するものが多かった。また、死亡前 1 ヶ月間に、在宅から病院へ入院した理由をみると、「病状の変化」が最も多くなっていた。

本人や家族の不安やゆらぎへの適切な対応、在宅での療養が出来るだけ本人・家族の望む形で継続できる環境の構築を図るためには、これら医療に関する相談や病状変化に適切に対応できるよう、医療関係者との連携強化（報告・連絡・相談の適切な実施）を図ることが、今後の課題と考えられた。

また、調査結果より、重度の利用者を高齢の家族が世話をする又は介護者不在といった、介護力不足の状況が 4 割以上みられた。また、死亡 1 ヶ月前に看取りの場所の変更理由においても、「病状の変化」に次いで「介護力の問題」が多かった。

今後、独居高齢者の増加、家族介護力の低下がより進むことが予想されている。このことから、在宅終末期ケアを支えるための、インフォーマルサービスの活用も含めた包括的な支援体制の構築が、今後のケアマネジメント上の課題と考えた。

【引用文献】

- 1) 国立社会保障・人口問題研究所：日本の将来推計人口（平成18年12月推計）、2007.
- 2) 厚生労働省大臣官房統計情報部：平成21年人口動態統計（確定数）の概況、2010.
- 3) 厚生労働省大臣官房統計情報部：平成20年人口動態統計—中巻—、2010.
- 4) 厚生労働省大臣官房統計情報部：平成21年医療施設（動態）調査・病院報告の概況、2010.
- 5) Lynn, J., Adamson, D.M : Living well at the end of life, WP-137, Rand Corporation, 2003.
- 6) 宮田和明、近藤克則、樋口京子：在宅高齢者の終末期ケア-全国訪問看護ステーション調査に学ぶ-、中央法規出版、東京、2007.
- 7) 樋口京子：高齢者の終末期におけるケアマネジメント、Geriatric Medicine、47(4)、471-475、2009.
- 8) 内田陽子、中谷久恵、島内 節：エンド・オブ・ライフケアニーズと在宅ケアマネジメントの実践、The Kitakanto Medical Journal、59(4)、337-344、2009.
- 9) 堂園裕美、岡田進一、白澤政和：高齢者を対象とした在宅ターミナルケアにおける介護支援専門員の役割、生活科学研究誌、6、1-10、2007.
- 10) 川越雅弘、小森昌彦、備酒伸彦：病床区分別にみた病床運営および退院先とのリハビリテーション連携状況の差異、理学療法兵庫、2009、15、35-42.
- 11) 河井美代子、大矢ルミ子、山崎里恵ほか：自宅退院へのチームアプローチ-退院前訪問を実施して、大津市民病院雑誌、2007、8、44-50.
- 12) 有限会社中間法人日本介護支援専門員協会：介護支援専門員（ケアマネジャー）の医療的ケアの知識向上のための調査研究事業、平成20年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）、2009、pp.51-53.
- 13) 片山 壽：父の背中地域の医療「尾道方式」の神髄—カンファレンスがつくる地域包括ケアシステム—、社会保険研究所、東京、2009、pp.200-201.
- 14) 厚生労働省統計情報部：平成20年介護サービス施設・事業所調査、2010、p.368.
- 15) 株式会社三菱総合研究所：居宅介護支援事業所及び介護支援専門員業務の実態に関する調査報告書、2010、p.15.

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

- 1) 川越雅弘：医療・介護連携が求められる背景とは、作業療法ジャーナル、Vol.45、No.2、pp.102-107、2011.
- 2) 辻村広美、山野敬子、天ヶ瀬延代、黒田ますみ、川越雅弘：在宅終末期の利用者および家族への介護支援専門員の関与の実態—兵庫県介護支援専門員協会会員へのアンケート調査から—、第10回近畿介護支援専門員研究大会兵庫大会、神戸ポートピアホテル、神戸、2011年2月27日.
- 3) 山野敬子、辻村広美、天ヶ瀬延代、黒田ますみ、川越雅弘：在宅終末期の利用者および家族への支援体制とサービス受給状況の実態—兵庫県介護支援専門員協会会員へのアンケート調査から—、第10回近畿介護支援専門員研究大会兵庫大会、神戸ポートピアホテル、神戸、2011年2月27日.

H. 知的所有権の出願・登録状況

なし

(別紙1) 調査への協力依頼文書

兵庫県介護支援専門員協会 会員の皆様へ

「在宅終末期の利用者および家族への支援体制とマネジメント担当者の関与の実態に
関するアンケート調査」－ご協力をお願い－

兵庫県介護支援専門員協会 会長 森上 淑美
国立社会保障・人口問題研究所 室長 川越 雅弘

拝啓 皆様には日頃から当会の運営や各種調査にご協力頂き、誠に有難うございます。

介護保険制度も、2年後の同時改定に向け、来年度には制度改正に向けた具体的検討が開始されます。県協会では、次期改正において、「実務者」から制度改正に向けての提言を行うため、政策提言研究会を立ち上げ、以下の具体的なテーマ、

課題1：ケアプランへの適切な医療サービス導入手法に関する研究（特に、退院時）

課題2：終末期の利用者・家族に対する適切な支援のあり方に関する研究（医療連携を含む）

課題3：認知症高齢者に対する適切な支援のあり方に関する研究（医療連携を含む）

に対する調査研究を進めているところであります。

先般ご協力頂いた、「退院患者に対するケアプランへのリハ導入の実態に関するアンケート調査」は、課題1に関連して、「退院前後における医療と介護の連携」の現状と課題を明らかにすることを目的に実施したものです。この調査により、

①退院要介護者の約6割は一般病床退院者で、今後、同病床との連携強化が必要であること

②退院前訪問指導が実施された場合の、介護支援専門員の同行率は約9割であること

③ケアプランへのリハ導入に関して、リハ専門職への事前相談率は約5割であること

④事前相談で、リハ専門職から「導入すべき」「できれば導入すべき」と指導された場合、

ケアプランへのリハは、相談非実施の場合に比べ、高い割合で導入されていること

などの貴重なデータが得られました（報告書としてまとめた段階で、公表致します）。

今回、課題2に関連して「在宅終末期の利用者および家族への支援体制とマネジメント担当者の関与の実態に関するアンケート調査」を実施させて頂きたいと存じます。課題2を具体化する上で、現状を認識するためのものです。なお、本研究は、前回調査と同様、厚生労働省科学研究費の補助を受けた「要介護高齢者の生活機能向上に資する医療・介護連携システムの構築に関する研究（研究代表者：川越雅弘）」の共同研究者として実施するものであります。

結果につきましては、兵庫県介護支援専門員協会の政策提言研究会の報告書や各種論文、平成23年2月の「近畿介護支援専門員研究大会」での発表、厚生科研の研究代表者である川越雅弘氏や分担研究者の各種論文・報告書に活用させて頂く予定です。なお、分析の際は、まとめて統計処理いたしますので、公表に際しても、個々のデータが公開されることは絶対にありません。研究にご参加頂けない場合でも何ら不利益を被ることはありませんが、研究の趣旨を是非ご理解の上、ご協力いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

※本件は、来年2月に神戸で開催されます「近畿介護支援専門員研究大会」での発表を予定しております。この関係で、アンケート返信につきましては、アンケート受領後、10日以内に、国立社会保障・人口問題研究所川越宛（FAX：03-3591-4912）にご返信ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル6階
国立社会保障・人口問題研究所 企画部 川越雅弘 TEL:03-3595-2984、FAX:03-3591-4912

(別紙2) アンケート調査票

**在宅終末期の利用者および家族への支援体制とマネジメント担当者の
関与の実態に関するアンケート調査**

以下の質問について、該当する□に✓、括弧内に数字をご記入下さい。

I 事業所概要／併設事業の有無／あなたの属性について

No	質問内容	回答欄
問1	あなたが勤務されている事業所は？	<input type="checkbox"/> 居宅 <input type="checkbox"/> 地域包括
問2	貴事業所の設立主体は？ <input type="checkbox"/> 医療法人 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人（社協以外） <input type="checkbox"/> 社協 <input type="checkbox"/> 民間企業（株式、有限会社） <input type="checkbox"/> 市町村 <input type="checkbox"/> 社団法人 <input type="checkbox"/> 財団法人 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
問3	貴事業所で要支援・要介護者のケアプランを担当している方は常勤非常勤併せて何名ですか？	() 名
問4	同一又は系列法人で、以下の事業を併設で運営していますか？（該当する□全てに✓） <input type="checkbox"/> 病院(24 時間体制あり) <input type="checkbox"/> 病院(24 時間体制なし) <input type="checkbox"/> 診療所(24 時間体制あり) <input type="checkbox"/> 診療所(24 時間体制なし) <input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション(24 時間体制あり) <input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション(24 時間体制なし) <input type="checkbox"/> 医療機関からの訪問看護(24 時間体制あり) <input type="checkbox"/> 医療機関訪問看護(24 時間体制なし) <input type="checkbox"/> 病院／診療所／訪問看護（医療機関）／訪問看護ステーションの併設はない ※ここでの 24 時間体制とは、緊急での呼び出しに対応可能であるという意味です。	
問5	あなたの経験年数は？(ケアプラン作成者としての実働年数)	() 年目
問6	アンケート記入時点での担当ケース数は？	要支援 () 名 要介護 () 名
問7	この1年間、毎月ケアプランを作成されていましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
問8	あなたの基礎職種を教えてください <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 社会福祉士 <input type="checkbox"/> 介護福祉士 <input type="checkbox"/> 社会福祉主事 <input type="checkbox"/> ヘルパー <input type="checkbox"/> リハ職 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 栄養士 <input type="checkbox"/> その他 ()	

II 死亡終了者の、過去1年間の受け持ち状況について

No	質問内容	回答欄
問1	過去1年間の担当ケースで、死亡終了者はありますか？	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

→ 「あり」と答えられた方に、引き続きお伺いします。

(※「なし」と回答された方はアンケート終了です。同封の封筒にて返信下さい。)

①	死亡終了者数は何名ですか？	() 名
②	①のうち、がんによる死亡終了者数は何名ですか？	() 名
③	①の死亡終了者の看取り場所別人数をお教えてください。	
	ア) 病院（療養病床を含む）	() 名
	イ) 有床診療所	() 名
	ウ) 老健施設または特養	() 名
	エ) 自宅	() 名
	オ) その他	() 名

Ⅲ 直近の死亡終了者のサービス受給とマネジメント担当者の関与などの実態

過去1年間の死亡終了者のうち、最も直近の死亡事例 1事例について、死亡までの1ヶ月間の支援状況などを伺います。

(1) 利用者の属性/家族の状況/告知の有無等について

No	質問内容	回答欄
問1	利用者の年齢階級	<input type="checkbox"/> 40-64歳 <input type="checkbox"/> 65-74歳 <input type="checkbox"/> 75-84歳 <input type="checkbox"/> 85歳以上
問2	要介護度	要支援(1・2)、要介護(1・2・3・4・5) ※該当数字に○
問3	同居者 (該当全てに✓)	<input type="checkbox"/> なし(独居) <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 子供 <input type="checkbox"/> 子供の配偶者 <input type="checkbox"/> 子供以外の親族 <input type="checkbox"/> その他
問4	主介護者 (1つだけ✓)	<input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘の夫 <input type="checkbox"/> 息子の妻 <input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> その他()
問5	意思決定上のキーパーソン (1つだけ✓)	<input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘の夫 <input type="checkbox"/> 息子の嫁 <input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> その他()
問6	利用者の主病名	<input type="checkbox"/> がん <input type="checkbox"/> 脳血管疾患 <input type="checkbox"/> その他
問7	本人・家族に対する病名や予後に関する告知の有無	(本人への告知) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 (家族への告知) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明
問8	本人の意向の確認の有無	(看取りの場所) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 (延命治療の実施) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明
問9	家族の意向の確認の有無	(看取りの場所) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 (延命治療の実施) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明

(2) 死亡1ヶ月前の療養場所と看取り場所の変化の有無とその理由について

問1	看取りの場所は？ <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 病院・有床診療所 <input type="checkbox"/> 介護施設 <input type="checkbox"/> その他()
問2	死亡前1ヵ月時点の療養場所は？ <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 病院・有床診療所 <input type="checkbox"/> 介護施設 <input type="checkbox"/> その他()
問3	死亡1ヶ月前の療養場所から看取り場所が変わった時期はおおよそいつ頃ですか？ <input type="checkbox"/> 死亡24時間以内 <input type="checkbox"/> 死亡3日～1日前 <input type="checkbox"/> 死亡4日前～1週間前 <input type="checkbox"/> 死亡1～2週間前 <input type="checkbox"/> 死亡2～4週間前 <input type="checkbox"/> 場所の変更なし
問4	自宅から自宅以外へ所在が変わった理由は？ (該当する□全てに✓) <input type="checkbox"/> もともと入院・入所の予定があった <input type="checkbox"/> 本人の希望や意思 <input type="checkbox"/> 同居家族の意見 <input type="checkbox"/> 家族の看取りへの不安や動揺 <input type="checkbox"/> 別居家族・親族の意見 <input type="checkbox"/> 介護力の問題 <input type="checkbox"/> 病状の変化(疼痛や呼吸苦、急変等) <input type="checkbox"/> その他()

(3) 死亡前1ヶ月間の医療支援体制とサービス受給状況～死亡前1ヵ月以前とのサービス比較含む～

問1	死亡前1ヵ月間の主治医の支援体制/サービス提供状況/連携状況について	
	①主治医の所属	<input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 在宅療養支援診療所 <input type="checkbox"/> その他診療所 <input type="checkbox"/> その他
	②24時間の電話連絡の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 不明
	③緊急時の往診対応の可否(※往診:急変等で患者宅から依頼を受け医師が訪問すること)	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 不明
	④緊急時の往診の有無と回数	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(月__回) <input type="checkbox"/> 不明
	⑤外来通院の有無と回数	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(月__回) <input type="checkbox"/> 不明
	⑥定期的な訪問診療の有無と回数(※訪問診療:定期的な医師による訪問のこと)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(月__回) <input type="checkbox"/> 不明

問2	死亡前1ヵ月間の訪問看護師の支援体制/サービス提供状況について			
	①訪問看護師の所属	<input type="checkbox"/> あなたの事業所の併設病院 <input type="checkbox"/> 併設以外の病院 <input type="checkbox"/> 併設の訪看ステーション <input type="checkbox"/> 併設以外の訪看ステーション		
	②24時間の電話連絡の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 不明		
	③緊急時の訪問対応の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 不明		
	④緊急時訪問の有無と回数	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(月__回) <input type="checkbox"/> 不明		
問3	死亡前1ヶ月間と、その前の1ヵ月間の介護サービス内容について			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 仮に金銭面の問題もなく、近くにサービス事業所もあった場合に、死亡前1ヵ月間のケアプランの中に、本人・家族、または、あなたからみて導入しなかった、ないし、もっと回数/日数を入れたかったサービスがあれば、<input type="checkbox"/>不足に✓を入れて下さい </div>			
	サービス種別	死亡2ヵ月前～1ヵ月前の1ヵ月間の利用サービス	死亡1ヵ月前の1ヵ月間の利用サービス	死亡1ヵ月前のサービス量の不足の有無
				本人・家族からみて あなたからみて
	訪問介護	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 不足有り <input type="checkbox"/> 不足有り
	訪問入浴	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 不足有り <input type="checkbox"/> 不足有り
	訪問看護(医療保険)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 不足有り <input type="checkbox"/> 不足有り
	訪問看護(介護保険)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 不足有り <input type="checkbox"/> 不足有り
	訪問リハ	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 不足有り <input type="checkbox"/> 不足有り
	福祉用具	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 不足有り <input type="checkbox"/> 不足有り
	通所介護	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 不足有り <input type="checkbox"/> 不足有り
通所リハ	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__回)	<input type="checkbox"/> 不足有り <input type="checkbox"/> 不足有り	
ショートステイ	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__日)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(月__日)	<input type="checkbox"/> 不足有り <input type="checkbox"/> 不足有り	
住宅改修	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	- -	
インフォーマルサービス(具体的内容を記入)				
問4	問3で、あなたからみて、死亡前1ヵ月間のいずれかのサービスに、 <input type="checkbox"/> 不足有りと回答された方に伺います。プランに導入できなかつた、ないし、回数を制限せざるを得なかつた理由は何ですか? 該当するもの全てに✓を入れて下さい			
	<input type="checkbox"/> 区分支給限度額内の単位数では不足していたため <input type="checkbox"/> 金銭的理由 <input type="checkbox"/> 本人の拒否 <input type="checkbox"/> 家族の拒否 <input type="checkbox"/> 事業所側が受け入れ拒否 <input type="checkbox"/> サービス事業所が不足(サービス名: _____) <input type="checkbox"/> その他(_____)			
問5	死亡前1ヶ月間のサービス量を、区分支給限度額との兼ね合いで、何らかの調整を行いましたか?			
	<input type="checkbox"/> 支給限度額以内であったため、特に調整はしていない <input type="checkbox"/> 支給限度額内で収まるように調整した →調整した具体的内容をお教えてください (_____) <input type="checkbox"/> 支給限度額を超えて、介護保険サービスを導入 <input type="checkbox"/> 家政婦などの介護保険以外のサービスを利用 <input type="checkbox"/> インフォーマルサービスなどで、サービスを補完した <input type="checkbox"/> その他(_____)			

(4) マネジメント担当者としての関与期間と関与開始時期について

問 1	あなたご本人に関わられた期間はどの程度ですか？ <input type="checkbox"/> 2週間未満 <input type="checkbox"/> 2週間以上1ヵ月未満 <input type="checkbox"/> 1ヵ月以上3ヵ月未満 <input type="checkbox"/> 3ヵ月以上半年未満 <input type="checkbox"/> 半年以上1年未満 <input type="checkbox"/> 1年以上3年未満 <input type="checkbox"/> 3年以上
問 2	あなたと本人・家族がかかわりを持ったのはいつ頃からですか？ (パターン1) <input type="checkbox"/> 医療機関・施設の入院・入所中から → (4) - 1へ (パターン2) <input type="checkbox"/> 医療機関・施設を退院・退所した後から → (4) - 2へ (パターン3) <input type="checkbox"/> 入院・入所をする前から → 次の頁(5)へ (パターン4) <input type="checkbox"/> 在宅療養中から(入院・入所はない) → 次の頁(5)へ

(4) - 1. パターン1: 入院・入所中から関与を開始した場合の経緯と関与状況について

問 1	関わり始めた(紹介を受けた)経緯は？ <input type="checkbox"/> 本人・家族からの相談 <input type="checkbox"/> 病院MSWからの連絡 <input type="checkbox"/> 病院看護師からの連絡 <input type="checkbox"/> 病院医師からの連絡 <input type="checkbox"/> 施設相談員からの連絡 <input type="checkbox"/> その他()	
問 2	問1の連絡相談を受けたのは退院・退所の何日前ですか？	約()日前
問 3	問2の連絡相談時期についてのあなたの印象は？(最も近いものに✓) <input type="checkbox"/> 非常に適切 <input type="checkbox"/> まあ適切 <input type="checkbox"/> やや遅い <input type="checkbox"/> 非常に遅い	
問 4	入院・入所先への訪問の有無と回数は？ <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(約__回) → ありの場合、該当理由の <input type="checkbox"/> 全てに✓した上で、おおよその回数を回答下さい。 <input type="checkbox"/> 退院前合同カンファレンスへの出席(__回) <input type="checkbox"/> 本人・家族との面会(__回) <input type="checkbox"/> 病院スタッフとの打合せ(__回) <input type="checkbox"/> その他(内容:)	
問 5	退院・退所時、要支援・要介護度は決定していましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
問 6	介護度が決まっていない段階のため、暫定のケアプランを作成された方に伺います。 必要と思われたサービス量のどの程度をプランに入れましたか？(最も近いものに✓) <input type="checkbox"/> 全て導入 <input type="checkbox"/> 3/4程度 <input type="checkbox"/> 半分程度 <input type="checkbox"/> 1/4程度 <input type="checkbox"/> ほとんど入れられず	

(4) - 2. パターン2: 入院・入所後から関与した場合の経緯と関与状況について

問 1	関わり始めた(紹介を受けた)経緯は？ <input type="checkbox"/> 本人・家族からの相談 <input type="checkbox"/> 病院MSWからの連絡 <input type="checkbox"/> 病院看護師からの連絡 <input type="checkbox"/> 病院医師からの連絡 <input type="checkbox"/> 施設相談員からの連絡 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センターからの連絡 <input type="checkbox"/> 在宅医からの連絡 <input type="checkbox"/> 訪問看護師からの連絡 <input type="checkbox"/> その他()	
問 2	最初の連絡はいつありましたか？ <input type="checkbox"/> 退院・退所から約(____)日前 <input type="checkbox"/> 退院・退所当日 <input type="checkbox"/> 退院・退所から約(____)日後	
問 3	問2の連絡相談時期についてのあなたの印象は？(最も近いものに✓) <input type="checkbox"/> 非常に適切 <input type="checkbox"/> まあ適切 <input type="checkbox"/> やや遅い <input type="checkbox"/> 非常に遅い	
問 4	関わり始めたのは退院・退所から何日後ですか？	約()日後
問 5	関わり開始時点で、要支援・要介護度は決定していましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
問 6	介護度が決まっていない段階のため、暫定のケアプランを作成された方に伺います。 必要と思われたサービス量のどの程度をプランに入れましたか？(最も近いものに✓) <input type="checkbox"/> 全て導入 <input type="checkbox"/> 3/4程度 <input type="checkbox"/> 半分程度 <input type="checkbox"/> 1/4程度 <input type="checkbox"/> ほとんど入れられず	

(5)死亡までの1ヵ月間、死亡後の援助内容について

問 1	死亡前1ヶ月間の、本人・家族からのケアマネへの相談内容と対応の有無について				
	相談内容	本人から		家族から	
		相談の有無	対応	相談の有無	対応
	①疾患に関して	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	②治療に関して	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	③薬に関して	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	④疼痛(痛み)について	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	⑤病状の変化に関して	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	⑥入院・入所の相談	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	⑦介護サービスに関して	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	⑧経済面の相談	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	⑨死後の相談	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	⑩家族関係の相談	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	⑪精神面の相談	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
	⑫看取りへの不安について	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施
⑬死の受容について	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	
⑭介護方法の相談	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	
⑮家族の介護体制について	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 実施	
問 2	死亡前1ヵ月間の、それ以前と比べた相談量/依頼量の変化について				
	①本人からの相談	<input type="checkbox"/> 非常に増えた <input type="checkbox"/> やや減った	<input type="checkbox"/> まあまあ増えた <input type="checkbox"/> 非常に減った	<input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> なかった	
	②家族からの相談	<input type="checkbox"/> 非常に増えた <input type="checkbox"/> やや減った	<input type="checkbox"/> まあまあ増えた <input type="checkbox"/> 非常に減った	<input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> なかった	
	③時間外の対応	<input type="checkbox"/> 非常に増えた <input type="checkbox"/> やや減った	<input type="checkbox"/> まあまあ増えた <input type="checkbox"/> 非常に減った	<input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> なかった	
	④主治医からの依頼	<input type="checkbox"/> 非常に増えた <input type="checkbox"/> やや減った	<input type="checkbox"/> まあまあ増えた <input type="checkbox"/> 非常に減った	<input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> なかった	
	⑤介護事業所からの依頼	<input type="checkbox"/> 非常に増えた <input type="checkbox"/> やや減った	<input type="checkbox"/> まあまあ増えた <input type="checkbox"/> 非常に減った	<input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> なかった	
問 3	死亡後に何らかの関わりを持ちましたか？		<input type="checkbox"/> 持っていない <input type="checkbox"/> 持った		
	→何らかの関わりを持たれた場合、その内容に該当する□全てに✓して下さい。 <input type="checkbox"/> お葬式/お通夜への参列 <input type="checkbox"/> 電話対応 <input type="checkbox"/> 訪問面会を実施 <input type="checkbox"/> その他(内容: _____)				

(6) マネジメント担当者としての支援方法、医療との連携に対する自己評価について

問 1	本人および家族への支援に対する自己評価について教えてください
	<p>①本人の死、死にいたる過程に対する支援に対する自己評価 (いずれかの□に✓)</p> <p><input type="checkbox"/>非常に満足 <input type="checkbox"/>まあ満足 <input type="checkbox"/>どちらとも言えない <input type="checkbox"/>やや不満 <input type="checkbox"/>大いに不満</p> <p>※満足ないし不満に感じている内容について具体的内容をご記入下さい</p> <p>()</p>
問 2	<p>②家族への支援に対する自己評価 (いずれかの□に✓)</p> <p><input type="checkbox"/>非常に満足 <input type="checkbox"/>まあ満足 <input type="checkbox"/>どちらとも言えない <input type="checkbox"/>やや不満 <input type="checkbox"/>大いに不満</p> <p>※満足ないし不満に感じている内容について具体的内容をご記入下さい</p> <p>()</p>
	あなたから見たご家族の満足度は？
問 3	<p><input type="checkbox"/>非常に満足 <input type="checkbox"/>まあ満足 <input type="checkbox"/>普通 <input type="checkbox"/>やや悔いが残っている <input type="checkbox"/>大いに悔いが残っている</p> <p>あなたにとって、対象者・家族へのケアマネジメント実施上の困難さはどうでしたか？</p> <p><input type="checkbox"/>全く困難でなかった <input type="checkbox"/>あまり困難であった <input type="checkbox"/>やや困難 <input type="checkbox"/>非常に困難</p>
問 4	<p>主治医や訪問看護師との連携に対する自己評価は？ また、その理由は？</p> <p>(主治医) <input type="checkbox"/>非常に連携がうまくとれた <input type="checkbox"/>まあまあ連携がとれた <input type="checkbox"/>普通</p> <p><input type="checkbox"/>あまりとれなかった <input type="checkbox"/>全くとれなかった <input type="checkbox"/>連携なし</p> <p>※連携がうまくいった、あるいはうまくいかなかった具体的理由をご記入下さい。</p> <p>()</p>
	<p>(訪問看護師) <input type="checkbox"/>非常に連携がうまくとれた <input type="checkbox"/>まあまあ連携がとれた <input type="checkbox"/>普通</p> <p><input type="checkbox"/>あまりとれなかった <input type="checkbox"/>全くとれなかった <input type="checkbox"/>連携なし</p> <p>※連携がうまくいった、あるいはうまくいかなかった具体的理由をご記入下さい。</p> <p>()</p>
問 5	<p>支援経過を振り返ってみて、「地域にこのようなサービスがあれば、よりよい本人・家族支援が出来た」「こんな支援が必要であった」と思われることはありますか？</p> <p>()</p>

アンケートは以上です。ご協力、有難うございました。

厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
「要介護高齢者の生活機能向上に資する医療・介護連携システムの構築に関する研究」
平成 22 年度分担研究報告書

高齢者の終末期におけるケアの課題
～意思決定能力が低下した高齢者への対応に焦点を当てて～

研究分担者 篠田道子（日本福祉大学 教授）

【研究要旨】

本稿では、高齢者の終末期ケアの課題、とりわけ意思決定能力が低下した要介護高齢者への対応に焦点を当てて、調査研究や事例研究、さらには文献や資料などを検討し、以下の知見が得られた。

高齢者の終末期ケアの課題を 3 つに整理した。①死に至る 3 つのパターンに応じたケアの必要性、②過小医療としての「みなし末期」、過大医療としての経管栄養等への対応、③意思決定が明確でない高齢者に対する医療・ケアチームの合意形成のあり方、である。特に②③においては、最近増加している胃瘻の問題がある。胃瘻には光と影があり、是非を問うのは困難である。多様な価値観、死生観を尊重しつつ、医療・ケアチームがカンファレンスで合意形成しながら、個別的な終末期ケアが提供できる体制・教育が必要である。

また、高齢者の終末期ケアの「質」の評価の枠組みとして、①評価する側面、②良い質の構成要素、の 2 つについて合意する必要がある。また、患者・家族とケア提供者では、評価の視点が異なることを前提に、高齢者や家族の「主観的な思い」を重視し、その視点を中心において臨床的に重要な点をケア提供者が追加した多軸で評価することが重要である。また、終末期ケアの満足度は、死亡場所ではなく、どのようなケアのプロセスに影響されるという知見から、プロセスを重視した丁寧なケアマネジメントが求められる。

A. 研究目的

高齢者の終末期ケアは、予後予測や意思の確認が難しく、かつ長期化するため介護者を含めた生活支援が必要など特有の課題がある。とりわけ、認知症などで意思決定できない要介護高齢者の終末期ケアは、本人や家族の主観的なとらえ方に着目したケアマネジメントが求められる。また、胃瘻など経管栄養の適用が大きな課題となっており、とりわけ末期の認知症患者は、苦痛が増すだけで生活の質（Quality of Life : QOL）の観点から疑問との指摘も多い。

本研究では、調査研究や事例研究、さらには文献や資料などから得られた知見をもとに、高齢者の終末期ケアの課題、質の評価の枠組みと構成要素を整理し、認知症などで意思決定能力が低下した高齢者への対応、さらに経管栄養の是非について考察する。

B. 研究方法

本研究は、高齢者の終末期ケアに関する調査研究と事例研究、終末期ケアに関する文献や資料から得られた情報をもとに、高齢者の終末期ケアの課題、質の評価の枠組みと構成要素を整理し、さらに認知症などで意思決定できない高齢者への経管栄養の是非について考察する。